

第22期 事業報告及び計算書類等

第22期 自 平成26年4月 1日
至 平成27年3月31日

但馬空港ターミナル株式会社

第 2 2 期 事 業 報 告

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

1 事業の現況

(1) 事業の経過及び成果並びに今後の課題

コウノトリ但馬空港の定期便の利用者数は29,082人と開港以来2番目に多い数字となり、羽田乗継ぎ利用者は11,193人で過去最高となりました。

これらは、地元の推進団体や航空旅行会社などが連携した各種旅行商品の開発・販売促進、首都圏や大阪における観光PRとタイアップしたキャンペーンの展開、さらには運賃助成制度等に加え、但馬一羽田直行便の実現に向けた働きかけ等、利用者ニーズに応じた様々な取り組みがおこなわれた成果です。

さらに、開港20周年となった平成26年度は、～出会い・感動～夢但馬2014が開催され、あらためて但馬の魅力が発信されたことにより、今後も観光利用客の増加が期待されます。

一方、空港の運営面では平成27年1月1日から公共施設等運営権に基づき、滑走路などの空港基本施設及び航空灯火等の航空保安施設の管理など空港本体も当社が運営管理することとなりました。

【主な事業内容】

当社は、県の指定管理者としてターミナルビル等の施設賃貸業及び空港公園とその周辺施設の管理業務を実施し、加えて1月からは運営権に基づく空港本体の管理運営を実施してきた。また、①土産物等の物品販売事業、②但馬広域防災拠点施設管理の受託事業及び、③空港利用促進PR事業を中心に展開し、収益の確保に取り組みました。

事業展開の目標としては、今期も利用者に「安全で安心な空港づくり」と「親しまれる空港づくり」の2本を柱として各種事業に取り組みました。

【主な取組内容】

まず、「安全で安心な空港づくり」に向け、①展示用航空機YS11の保全修繕、②ターミナルビルの天井の補強工事など適切な施設管理に努めるとともに、運営権者として但馬空港保安委員会を主催し、ハイジャック対応訓練など空港の安全確保の向上に取り組みました。

次に、「親しまれる空港づくり」として①空港レストランの再開、②「但馬空港フェスティバル」、「但馬空の自然教室」や「国内乗り継ぎキャンペーン」など各種イベントへの参画など、空港の広報・PR活動や利用促進に積極的に努めるとともに、来港者へのサービスの充実を図りました。

【当社の業績】

以上のような状況のなかで、営業活動に努めました結果、次のような業績を収め、引き続き黒字基調を堅持することが出来ました。

(売上高)

売上高は、燃料販売収入、テナント料収入、会議室使用料収入などは、ほぼ前年と同等でしたが、運営権に伴う補助金収入により、前期比61,876千円増の174,305千円となりました。

(売上原価)

売上原価は、燃料仕入、共益費、受託事業費などですが、運営権による空港運

営費の増加により、前期比50,911千円増の94,658千円となりました。
(販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費は、組織統合による人件費の増加分も含め、前期比7,263千円増の73,636千円となりました。

(営業利益)

この結果、売上高から、売上原価、販売費及び一般管理費を差引した後の営業利益は前期比3,702千円増加し、6,011千円となりました。

(当期純利益)

これに預金利息等の営業外収益と営業外費用を加減した後の経常利益は7,222千円となり、法人税等3,598千円を支払い後の当期純利益は3,624千円となりました。

(当期末利益剰余金)

前期末の繰越利益剰余金に当期純利益を加えた当期末の利益剰余金は17,387千円となりました。

【対処すべき課題】

民活空港運営法及び民間資金法に基づき、但馬空港本体とターミナルビル等空港周辺施設の一体運営が開始され、これまで以上の効率的な運営に努め、一層の収益確保に向けて、積極的な営業活動を展開してまいります。但馬空港を取り巻く環境は大変厳しいものがありますが、空港施設や路線の利用など何卒、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 財産及び損益の状況

区 分 (期 間)	第19期 23.4.1~24.3.31	第20期 24.4.1~25.3.31	第21期 25.4.1~26.3.31	第22期 26.4.1~27.3.31
売 上 高	112,400千円	113,187千円	112,429千円	174,305千円
当期純利益	891千円	1,602千円	1,438千円	3,624千円
1株当り当期純損益	144円	260円	234円	588円
総 資 産	328,948千円	336,380千円	353,116千円	397,428千円

2 会社の状況

(1) 主要な事業内容

但馬空港の空港本体及びターミナルビル、その周辺施設の適切な管理を行うとともに、航空機燃料販売等を行い、空港全体の管理運営を担っています。

また、「但馬空の自然教室」等空港を核とした地域交流事業に積極的に参画し、航空への関心を高める取り組みを行っています。

(2) 事業所

本店 兵庫県豊岡市岩井字河谷1598番地の34

(3) 株式の状況(平成27年3月31日現在)

ア 発行する株式の総数 8,000株
イ 発行済株式総数 6,160株
ウ 当期末株主数 28名
エ 大株主の持ち株等

株主名	持株数	持株比率
兵庫県	2,000株	32.47%
豊岡市	1,594株	25.88%
日本航空(株)	800株	12.99%
大阪国際空港ターミナル(株)	200株	3.25%
養父市	168株	2.73%
(株)三井住友銀行	120株	1.95%
三井住友海上火災保険(株)	120株	1.95%
朝来市	116株	1.88%
豊岡市商工会	109株	1.77%
(株)但馬銀行	100株	1.62%
但馬信用金庫	100株	1.62%

(4) 従業員の状況（平成27年3月31日現在）

従業員数：19名 平均年齢：55歳

(5) 役員状況（平成27年3月31日現在）

役名	氏名	主な職業
取締役会長	吉本知之	兵庫県副知事
取締役副会長	中貝宗治	豊岡市長
代表取締役社長	田中稔	兵庫県県土整備部長
常務取締役	石田和義	(常勤)
常務取締役	横山悟	(常勤)
取締役	広瀬栄	養父市長
取締役	宮垣和生	豊岡商工会議所会頭
取締役	神田武	但馬地域商工会振興協議会会長
取締役	岡本仁志	大阪国際空港ターミナル(株)代表取締役社長
監査役	多次勝昭	朝来市長
監査役	加藤幹夫	(株)但馬銀行取締役本店営業部長

貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産		流動負債	
現金及び預金	155,265,139	未払金	60,369,958
売掛金	1,927,494	預り金	527,308
有価証券	220,000,000	未払事業税	958,700
印紙証紙	1,248,277	未払法人税等	2,282,700
棚卸資産	6,007,041	賞与引当金	3,419,889
未収金	9,949,278		
前払費用	1,975	流動負債合計	67,558,555
未収消費税	2,169,310		
流動資産合計	396,568,514	固定負債	
固定資産		預り取引保証金	1,280,000
有形固定資産		リース未払金	90,720
機械装置	277,000	退職給付引当金	3,111,000
車輛運搬具	8,808,885		
工具器具備品	1,848,000	固定負債合計	4,481,720
減価償却累計額	△ 10,411,943		
有形固定資産合計	521,942	負債合計	
無形固定資産		72,040,275	
電話加入権	191,240	純資産の部	
ソフトウェア	128,333	株主資本	
無形固定資産合計	319,573	資本金	308,000,000
投資その他資産		利益剰余金	
長期前払費用	17,680	その他利益剰余金	17,387,434
投資その他資産合計	17,680	利益剰余金合計	17,387,434
固定資産合計	859,195	株主資本合計	325,387,434
資産合計		純資産合計	
397,427,709		325,387,434	
		負債及び純資産合計	
		397,427,709	

損益計算書

自 平成26年4月 1日
至 平成27年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額
売 上 高	174,304,872
燃 料 販 売 収 入	14,596,137
テ ナ ン ト 料 収 入	23,804,988
物 販 収 入	5,836,484
受 託 事 業 等 収 入	12,108,000
指 定 管 理 料 収 入	42,023,149
空 港 運 営 収 入	75,936,114
売 上 原 価	94,658,486
期 首 燃 料 ・ 商 品 棚 卸 高	6,844,269
燃 料 仕 入 費	11,411,048
共 益 仕 入 費	16,596,634
物 販 仕 入 費	14,317
受 託 事 業 費	12,582,094
空 港 運 営 費	53,217,165
期 末 燃 料 ・ 商 品 棚 卸 高	6,007,041
売 上 総 利 益 金 額	79,646,386
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	73,635,624
営 業 利 益 金 額	6,010,762
営 業 外 収 益	1,211,364
受 取 利 息	956,968
そ の 他 営 業 外 収 益 等	254,396
経 常 利 益 金 額	7,222,126
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額	7,222,126
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	3,597,700
当 期 純 利 益 金 額	3,624,426

株主資本等変動計算書

自 平成26年4月 1日
至 平成27年3月31日

(単位:円)

区 分	株 主 資 本				純資産合計
	資 本 金	利 益 剰 余 金		株 主 資 本 合 計	
		その他利益剰 余金 (繰越 利益剰余金)	利 益 剰 余 金 合 計		
前 期 末 残 高	308,000,000	13,763,008	13,763,008	321,763,008	321,763,008
当 期 変 動 額					
当 期 純 利 益		3,624,426	3,624,426	3,624,426	3,624,426
当 期 変 動 額 合 計		3,624,426	3,624,426	3,624,426	3,624,426
当 期 末 残 高	308,000,000	17,387,434	17,387,434	325,387,434	325,387,434

当期末残高の繰越利益剰余金 17,387,434 円は、全額次期に繰り越しいたします。

個別注記表

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法 総平均法による原価法を採用しています。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法 最終仕入原価法を採用しています。
- (3) 固定資産の減価償却方法
- (a) 有形固定資産
定率法を採用しています。
- (b) 無形固定資産
定額法を採用しています。
- (4) 引当金の計上基準
- (a) 賞与引当金
従業員に対して支給する賞与に充てるため、支給対象期間に対応する支給見込額を計上しております。
- (b) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、退職給付債務の見込み額に基づき、発生していると認められる額を計上しています。
- (5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
- (a) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借り主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- (b) 消費税の処理方式 税抜方式によって処理しています。
- 2 株主資本等変動計算書に関する注記
当期末における発行株式総数は、普通株式6,160株で変更はありません。
- 3 その他の注記
- | | |
|--------------------|--------------|
| (1) 有形固定資産の減価償却累計額 | 10,411,943 円 |
| (2) 1株当たりの当期利益 | 588 円 |

計算書類に係る附属明細書

第22期 自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月31日

但馬空港ターミナル株式会社

有形固定資産及び無形固定資産の明細

区分	資産の種類	期首 帳簿価格	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価格	減価償却 累計額	期末 取得原価
有形 固定 資産	機械装置	1	-	-	-	1	276,999	277,000
	車両運搬具	571,466	-	-	198,813	372,653	8,436,232	8,808,885
	工具、器具 及び備品	188,019	-	-	38,731	149,288	1,698,712	1,848,000
	計	759,486	-	-	237,544	521,942	10,411,943	10,933,885
無形 固定 資産	電話加入権	191,240	-	-	-	191,240		
	ソフトウェア	172,333	-	-	44,000	128,333		
	計	363,573	-	-	44,000	319,573		

販売費及び一般管理費の明細

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
役員報酬	9,897,500	
給料手当	10,365,044	
賞与	2,493,174	
報償	187,996	
雑給	18,273,876	
法定福利費	6,983,013	
賞与引当金繰入	3,419,889	
退職給付引当金	720,000	
福利厚生費	269,681	
旅費交通費	1,694,576	
通信費	1,000,507	
荷造運賃	15,185	
広告宣伝費	529,579	
交際費	32,169	
会議費	70,248	
燃料費	1,188,053	
水道光熱費	4,882,829	
消耗品費	1,397,797	
租税公課	1,907,084	
図書費	103,585	
支払手数料	258,376	
諸会費	49,700	
賃借料	767,182	
保険料	1,368,285	
修繕費	4,331,485	
事務用品費	223,568	
印刷費	294,315	
寄付金	18,519	
減価償却費	281,544	
雑費	610,865	
合計	73,635,624	

キャッシュ・フロー計算書

第22期 自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月31日

但馬空港ターミナル株式会社

キャッシュ・フロー計算書

自 平成26年4月 1日
至 平成27年3月31日

税 抜
間接法
単位：円

I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	7,222,126
売上債権の増減額	△ 906,016
棚卸資産の増減額	837,228
仕入債務の増減額	△ 1,364,242
未払消費税等の増減額	△ 1,076,800
その他資産負債の増減額	38,223,939
小 計	42,936,235
法人税等の支払額	1,642,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,578,635
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△ 220,000,000
有価証券の売却による収入	225,000,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,000,000
V 現金及び現金同等物の増減額	49,578,635
VI 現金及び現金同等物期首残高	105,686,504
VII 現金及び現金同等物期末残高	155,265,139